

## 令和3年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年5月14日

上場会社名 株式会社日本一ソフトウェア 上場取引所 東  
 コード番号 3851 URL https://www.nippon1.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川宗平  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 世古哲久 TEL 058-371-7275  
 定時株主総会開催予定日 令和3年6月24日 配当支払開始予定日 令和3年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 令和3年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無: 無  
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和3年3月期の連結業績(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和 3年3月期	5,300	59.1	1,248	171.3	1,285	164.4	905	236.2
令和 2年3月期	3,331	△26.4	460	7.9	486	△8.1	269	△8.3

(注) 包括利益 令和3年3月期 989百万円 (227.3%) 令和2年3月期 302百万円 (1.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
令和 3年3月期	179.19	178.55	22.7	22.6	23.6
令和 2年3月期	53.29	53.03	8.0	9.8	13.8

(参考) 持分法投資損益 令和3年3月期 -百万円 令和2年3月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和 3年3月期	6,387	4,637	69.9	883.94
令和 2年3月期	5,004	3,670	70.1	694.59

(参考) 自己資本 令和3年3月期 4,465百万円 令和2年3月期 3,509百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
令和 3年3月期	1,553	552	△83	3,778
令和 2年3月期	△476	117	△336	1,664

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
令和 2年3月期	-	0.00	-	4.00	4.00	20	7.5	0.6
令和 3年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00	25	2.8	0.6
令和4年3月期(予想)	-	0.00	-	4.00	4.00		2.7	

(注) 令和3年3月期期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 特別配当 1円00銭

## 3. 令和4年3月期の連結業績予想(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,153	-	867	-	865	-	558	-	110.61
通期	4,725	-	1,060	-	1,057	-	742	-	147.02

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## ※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

令和3年3月期	5,110,500株	令和2年3月期	5,110,500株
令和3年3月期	58,236株	令和2年3月期	58,188株
令和3年3月期	5,052,270株	令和2年3月期	5,052,308株

## (参考) 個別業績の概要

1. 令和3年3月期の個別業績（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和 3年3月期	2,229	56.1	473	86.7	660	112.9	467	129.4
令和 2年3月期	1,428	△32.5	253	39.9	310	11.0	204	115.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
令和 3年3月期	92.63	92.30
令和 2年3月期	40.39	40.19

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和 3年3月期	3,028	2,555	78.7	471.86
令和 2年3月期	2,683	2,091	72.0	382.15

(参考) 自己資本 令和3年3月期 2,383百万円 令和2年3月期 1,930百万円

2. 令和4年3月期の個別業績予想（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,120	—	520	—	387	—	76.72
通期	1,913	—	725	—	529	—	104.79

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の個別業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. その他 .....	14
(1) 役員の変動 .....	14
(2) その他 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、感染症拡大の影響により極めて厳しい状況で推移いたしました。また、11の都府県を対象とした2回目の緊急事態宣言が解除されたものの、依然として先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループが所属するゲーム業界では、感染症の影響でゲーム機、ソフトウェア、関連商品の生産・出荷に遅延が生じていますが、外出自粛により自宅におけるゲーム需要の増加に加え、次世代ゲーム機プレイステーション5の発売や、ゲームをスポーツ競技ととらえるeスポーツに注目が集まるなど、様々な展開を見せています。

当社グループは、このような経営環境の中、ビジョンである「Entertainment for All」の実現のため、年齢、性別、地域にかかわらずすべての方にあらゆるエンターテインメント分野で楽しさを提供することを目標とし、『商品戦略』『開発力向上』『人材育成』を中期経営戦略として取り組んでまいります。

当連結会計年度における当社グループの状況は以下の通りです。

パッケージタイトルとしましては、『ボク姫PROJECT』、『少女地獄のドクムスメ』、『夜、灯す』、『MAD RAT DEAD』、『プリニー1・2』、『ガレリアの地下迷宮と魔女ノ旅団』、『魔界戦記ディスガイア6』、『void tRrLM(); ++ver;』、『英雄伝説 閃の軌跡IV』を発売いたしました。また、来期以降に発売を予定しております、『探偵撲滅』、『わるい王様とりっばな勇者』、『風雨来記4』等につきまして開発を進めてまいりました。

スマートフォンゲームアプリとしましては、『htoL#NiQ -ホテルノニッキー』、『ソリティア』、『嘘つき姫と盲目王子』、『ずけいタワー』、『プロテインシェイカー』、『殺人探偵ジャック・ザ・リッパー』、『ドミノ』、『ブロック崩し』、『ビリヤード』、『五目並べ』、『ピンボール』の計11タイトルを配信いたしました。

また、海外インディーゲームを発掘し、国内移植・販売を行うプロジェクトである日本一Indie Spiritsとしてダウンロード専用タイトル『羽ばたくヒーロー』を発売いたしました。

その他につきましては、インターネット環境でゲームソフトを購入できるPlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズを行いました。加えて、新規タイトルの開発及び関連商品のライセンスアウト、他社タイトルの受託開発、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営も引き続き行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高5,300,914千円（前年同期比59.1%増）、営業利益1,248,258千円（同171.3%増）、経常利益1,285,260千円（同164.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益905,324千円（同236.2%増）となりました。なお、当社グループはコンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### イ 資産

当連結会計年度末の総資産は6,387,349千円となり、前連結会計年度末に比べ1,382,548千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末に比べ2,114,263千円の増加）、受取手形及び売掛金の増加（同44,685千円の増加）、有価証券の減少（同440,953千円の減少）、商品及び製品の増加（同60,506千円の増加）、仕掛品の減少（同85,779千円の減少）、前払費用の減少（同33,976千円の減少）によるものであります。

主な固定資産の増減は、建物及び構築物の増加（同73,278千円の増加）、投資有価証券の減少（同269,820千円の減少）によるものであります。

##### ロ 負債

当連結会計年度末の負債は1,750,189千円となり、同415,468千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加（同142,188千円の増加）、短期借入金の減少（同313,900千円の減少）、未払金の減少（同50,614千円の減少）、未払法人税等の増加（同69,923千円の増加）、賞与引当金の増加（同40,386千円の増加）、売上値引当金の減少（同25,000千円の減少）、その他の増加（同287,284千円の増加）によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加（同245,000千円の増加）によるものであります。

## ハ 純資産

当連結会計年度末の純資産は、4,637,159千円となり、同967,079千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加（同872,899千円の増加）、為替換算調整勘定の増加（同53,329千円の増加）、その他有価証券評価差額金の増加（同30,461千円の増加）によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は3,778,367千円となり、同2,087,498千円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、1,553,460千円（前年同期は476,425千円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,243,143千円、仕入債務の増加133,248千円、前受金の増加182,072千円、法人税等の支払額278,804千円によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、552,406千円（前年同期は117,811千円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出131,439千円、有価証券の売却による収入436,057千円、投資有価証券の売却及び償還による収入250,028千円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、83,004千円（前年同期は336,767千円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額313,900千円、長期借入れによる収入251,000千円によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は下記のとおりであります。

	平成30年3月期	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期
自己資本比率 (%)	65.0	65.4	70.1	69.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	199.6	200.4	81.8	93.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.0	1.0	—	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	151.9	163.8	—	758.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

なお、令和2年3月期におけるキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオにつきましては営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

## (4) 今後の見通し

当社グループが属するゲーム業界は、PlayStation4及びNintendo Switchの売上がハードウェア、ソフトウェアともに順調に推移しており、市場の多様化、拡大が続いております。

当社といたしましては、引き続きコンシューマーゲームを主力商品として、さらなる新規IP（知的財産）の創出に注力いたします。

令和4年3月期は、新規IPとして『探偵撲滅』『わるい王様とりっぱな勇者』等の発売を予定しております。また、自社タイトル及び国内タイトルをローカライズし、北米・欧州を中心に販売展開を継続いたします。

また、過去IPの有効活用と、新規IPの商品価値と収益の最大化を目指し、平成28年に発売いたしました『真 流行情神2』の続編である『真 流行情神3』の発売を予定しているほか、北米子会社NIS America, Inc.と連携し、Steamへ積極的に商品を展開してまいります。

上記の取り組み以外にも、他社コンテンツとのコラボレーション、トレーディングカードゲームショップ『プリニークラブ』の運営など、当社IPの価値、既存タイトルの認知度及び顧客満足度の向上を図り、収益の最大化を目指します。以上の取り組みにより、次期の連結業績につきましては、下記のように見込んでおります。

売上高	4,725,604千円
営業利益	1,060,586千円
経常利益	1,057,132千円
親会社株主に帰属する当期純利益	742,804千円

**業績予想に関する留意事項**

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料公表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。今後の経済情勢・市場の変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績は業績予想と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来のIFRS適用に備え、必要な人材の育成、社内マニュアルや指針等の整備を今後進めてまいる所存です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当連結会計年度 (令和3年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,664,103	3,778,367
受取手形及び売掛金	530,237	574,923
有価証券	440,953	—
商品及び製品	165,790	226,296
仕掛品	418,760	332,980
前払費用	353,359	319,382
その他	146,373	18,223
貸倒引当金	△18,221	△19,498
流動資産合計	3,701,356	5,230,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	463,585	536,863
機械装置及び運搬具(純額)	4,638	6,454
土地	321,536	349,711
建設仮勘定	25,473	3,000
その他(純額)	29,985	34,760
有形固定資産合計	845,220	930,791
無形固定資産	15,983	13,385
投資その他の資産		
投資有価証券	406,986	137,165
その他	35,255	75,331
投資その他の資産合計	442,241	212,497
固定資産合計	1,303,444	1,156,673
資産合計	5,004,801	6,387,349

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当連結会計年度 (令和3年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	102,521	244,710
短期借入金	430,000	116,100
1年内返済予定の長期借入金	—	6,000
未払金	168,609	117,994
未払法人税等	47,544	117,467
賞与引当金	99,411	139,798
売上値引引当金	298,630	273,629
その他	118,961	406,245
流動負債合計	1,265,678	1,421,947
固定負債		
長期借入金	—	245,000
退職給付に係る負債	43,273	46,978
その他	25,769	36,263
固定負債合計	69,042	328,242
負債合計	1,334,721	1,750,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,499	545,499
資本剰余金	535,499	535,499
利益剰余金	2,408,103	3,281,002
自己株式	△17,117	△17,167
株主資本合計	3,471,985	4,344,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,668	3,793
為替換算調整勘定	63,950	117,279
その他の包括利益累計額合計	37,281	121,073
新株予約権	160,813	171,252
純資産合計	3,670,079	4,637,159
負債純資産合計	5,004,801	6,387,349

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和 2年4月 1日 至 令和 3年3月31日)
売上高	3,331,121	5,300,914
売上原価	1,426,790	2,415,814
売上総利益	1,904,330	2,885,099
販売費及び一般管理費	1,444,214	1,636,841
営業利益	460,116	1,248,258
営業外収益		
受取利息	35,756	19,088
受取配当金	133	181
投資事業組合運用益	—	983
為替差益	—	16,721
その他	6,231	5,302
営業外収益合計	42,121	42,276
営業外費用		
支払利息	1,903	2,048
投資事業組合運用損	151	—
為替差損	13,681	—
その他	312	3,226
営業外費用合計	16,048	5,274
経常利益	486,188	1,285,260
特別利益		
新株予約権戻入益	1,284	6,235
特別利益合計	1,284	6,235
特別損失		
固定資産除却損	71	—
投資有価証券売却損	44,480	24,353
減損損失	—	24,000
特別損失合計	44,552	48,353
税金等調整前当期純利益	442,920	1,243,143
法人税、住民税及び事業税	148,160	368,169
法人税等調整額	25,517	△30,351
法人税等合計	173,678	337,818
当期純利益	269,242	905,324
親会社株主に帰属する当期純利益	269,242	905,324

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和 2年4月 1日 至 令和 3年3月31日)
当期純利益	269,242	905,324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,189	30,461
為替換算調整勘定	△33,245	53,329
その他の包括利益合計	32,944	83,791
包括利益	302,186	989,116
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	302,186	989,116
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	545,271	535,271	2,170,158	△17,072	3,233,627
当期変動額					
新株の発行	228	228			457
剰余金の配当			△20,207		△20,207
親会社株主に帰属する当期純利益			269,242		269,242
自己株式の取得				△45	△45
連結範囲の変動			△11,089		△11,089
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	228	228	237,945	△45	238,357
当期末残高	545,499	535,499	2,408,103	△17,117	3,471,985

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△92,858	97,195	4,337	113,764	3,351,729
当期変動額					
新株の発行					457
剰余金の配当					△20,207
親会社株主に帰属する当期純利益					269,242
自己株式の取得					△45
連結範囲の変動					△11,089
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	66,189	△33,245	32,944	47,049	79,993
当期変動額合計	66,189	△33,245	32,944	47,049	318,350
当期末残高	△26,668	63,950	37,281	160,813	3,670,079

当連結会計年度 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	545,499	535,499	2,408,103	△17,117	3,471,985
当期変動額					
新株の発行					
剰余金の配当			△20,209		△20,209
親会社株主に帰属する当期純利益			905,324		905,324
自己株式の取得				△49	△49
連結範囲の変動			△12,216		△12,216
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計			872,899	△49	872,849
当期末残高	545,499	535,499	3,281,002	△17,167	4,344,834

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△26,668	63,950	37,281	160,813	3,670,079
当期変動額					
新株の発行					
剰余金の配当					△20,209
親会社株主に帰属する当期純利益					905,324
自己株式の取得					△49
連結範囲の変動					△12,216
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	30,461	53,329	83,791	10,438	94,230
当期変動額合計	30,461	53,329	83,791	10,438	967,079
当期末残高	3,793	117,279	121,073	171,252	4,637,159

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和 2年4月 1日 至 令和 3年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	442,920	1,243,143
減価償却費	39,040	53,417
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△938	981
のれん償却額	—	6,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,043	37,609
売上値引引当金の増減額 (△は減少)	85,328	△28,922
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,072	3,705
受取利息及び受取配当金	△35,889	△19,269
支払利息	1,903	2,048
投資事業組合運用損益 (△は益)	151	△983
為替差損益 (△は益)	△129	—
固定資産除却損	71	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	44,480	24,353
減損損失	—	24,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△293,929	△27,691
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△252,260	38,854
仕入債務の増減額 (△は減少)	△14,672	133,248
前渡金の増減額 (△は増加)	△7,419	14,868
前払費用の増減額 (△は増加)	△176,222	40,022
前受金の増減額 (△は減少)	△36,787	182,072
その他	△107,130	84,748
小計	△307,455	1,812,205
利息及び配当金の受取額	47,025	22,106
利息の支払額	△1,903	△2,048
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△214,091	△278,804
営業活動によるキャッシュ・フロー	△476,425	1,553,460
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△149,651	△131,439
無形固定資産の取得による支出	△2,136	△3,511
有価証券の取得による支出	△223,847	△5,881
有価証券の売却による収入	—	436,057
投資有価証券の取得による支出	△25,000	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	513,283	250,028
その他	5,164	7,153
投資活動によるキャッシュ・フロー	117,811	552,406
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	208,084	△313,900
長期借入金の返済による支出	△528,447	—
長期借入れによる収入	—	251,000
株式の発行による収入	457	—
新株予約権の発行による収入	3,138	—
自己株式の取得による支出	△45	△49
配当金の支払額	△19,954	△20,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	△336,767	△83,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,784	64,636
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△724,165	2,087,498
現金及び現金同等物の期首残高	2,046,785	1,664,103
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	341,483	26,765
現金及び現金同等物の期末残高	1,664,103	3,778,367

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度 (自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日)

当社グループはコンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 令和 2年4月1日 至 令和 3年3月31日)

当社グループはコンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品の区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	アジア	合計
1,131,471	1,501,687	670,048	27,913	3,331,121

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・米国

(2) 欧州・・・イギリス、フランス

(3) アジア・・・ベトナム、韓国

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
任天堂株式会社	511,644
Sega of America, Inc.	413,587
株式会社セガゲームス	341,163
SONY INTERACTIVE ENTERTAINMENT AMERICA	335,834

当連結会計年度（自 令和 2年4月1日 至 令和 3年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品の区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	アジア	合計
1,829,787	2,572,091	800,687	98,348	5,300,914

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 北米・・・米国
- (2) 欧州・・・イギリス、フランス
- (3) アジア・・・ベトナム、韓国、中国

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
株式会社セガゲームス	770,262
任天堂株式会社	749,262
KOEI TECMO AMERICA CORPORATION	569,493

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日）  
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 令和 2年4月1日 至 令和 3年3月31日）

当社グループはコンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成31年4月1日 至 令和 2年3月31日）  
該当事項はありません。

当連結会計年度（自 令和 2年4月1日 至 令和 3年3月31日）

当社グループはコンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和 2年4月 1日 至 令和 3年3月31日)
1株当たり純資産額	694円59銭	883円94銭
1株当たり当期純利益金額	53円29銭	179円19銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	53円03銭	178円55銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成31年4月 1日 至 令和 2年3月31日)	当連結会計年度 (自 令和 2年4月 1日 至 令和 3年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	269,242	905,324
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	269,242	905,324
普通株式の期中平均株式数 (株)	5,052,308	5,052,270
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	25,195	18,214
(うち新株予約権)	25,195	18,214
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類 (新株予約権の数5,164個 (普通株式516,400株))	新株予約権2種類 (新株予約権の数5,107個 (普通株式510,700株))

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 役員の異動

該当事項はありません。

## (2) その他

該当事項はありません。